

2006年3月14日

各位

日鉱金属株式会社
三井金属鉱業株式会社
パンパシフィック・カッパー株式会社

チリ国 レガリート銅鉱床開発プロジェクトの権益取得について

～レガリート・カッパー社の全株式を公開買付により取得～

日鉱金属株式会社（本社：東京都港区虎ノ門二丁目，社長：岡田 昌徳）及び三井金属鉱業株式会社（本社：東京都品川区大崎一丁目，社長：楨原 紘）の共同出資による銅事業会社パンパシフィック・カッパー株式会社（本社：東京都港区虎ノ門一丁目，社長：久留嶋 毅，以下「PPC社」）は、「チリを中心とする資源賦存地域における銅事業基盤の確立」を経営課題として掲げ、有望な鉱山プロジェクトの権益獲得を目指しておりますが、本日、チリ第Ⅲ州に位置するレガリート銅鉱床の権益を保有する Regalito Copper Corp.（本社：カナダ・バンクーバー，以下「レガリート社」）との間で、同社の全株式を公開買付により取得することについて合意に至り、買収に係る契約書を締結いたしました。

レガリート銅鉱床開発プロジェクト（以下「本開発プロジェクト」）は、PPC社がSX/EW法（注）を適用して鉱石から地金までの一貫生産体制を海外において構築しようとするものであります。PPC社は、今後、本開発プロジェクトを新たな銅事業展開への第一歩と位置付け、本公開買付の成立を前提に、これを推進してまいります。

（注）SX/EW法（溶媒抽出電解採取法）：銅鉱石を堆積して希硫酸で銅分をリーチング（浸出）し、その浸出液から銅イオンを選択的に回収（溶媒抽出）し、電解採取により電気銅を生産する。酸化銅鉱石や二次硫化銅鉱石から直接銅を浸出・回収し、電気銅を生産する方法として、近年広く利用されるようになり、現在、全世界の銅生産量の約20%を占める。

レガリート社株式の公開買付及び本開発プロジェクトの概要は次のとおりであります。

1. レガリート社株式公開買付の概要

- | | |
|----------------|--|
| （1）対象会社の名称 | Regalito Copper Corp. |
| （2）公開買付対象株式の種類 | 普通株式 |
| （3）公開買付の価格 | 6.00USドル/株 |
| （4）公開買付予定株数 | 約22.9百万株（ストックオプション等を含む潜在発行株式数） |
| （5）公開買付総額 | 約137百万USドル |
| （6）公開買付期間 | レガリート社株主に対して Offering Documents（買付申込書）を送付する日（遅くとも2006年4月13日）から最短35日間 |
| （7）公開買付方法 | |

カナダにおけるPPC社100%出資子会社を通じて、トロント証券取引所及びアメリカン証券取引所に上場しているレガリート社の全株式に対して現金を対価とする公開買付を実施いたします。この公開買付は、レガリート社取締役会の承認を得た友好的なものであり、また、PPC社とレガリート社の経営陣及び主要な大株主との間で、本公開買付に応じる旨を書面により合意しております。PPC社は、潜在発行株式数の3分の2以上の取得により、レガリート社の経営権の取得が可能となりますが、引き続き実施される合併等の買収手続きにより、最終的に同社の完全子会社化を目指しております。

2. 本開発プロジェクトの概要

(1) レガリート銅鉱床の所在地（別紙参照）

チリ第三州の州都 Copiapo から南東 115km, アルゼンチンとの国境から 15km に所在。
鉱床付近の標高は 4,200m~4,600m。

(2) 対象鉱区

6 採掘鉱区 (4,258ha) 及びこの採掘鉱区を取り巻く 158 の探鉱鉱区 (41,700ha)。

(3) 埋蔵鉱量

約 6.3 億 t (酸化鉱及び二次硫化鉱, 品位 0.43%, 銅量ベース約 270 万 t)。

(4) 生産から出荷までのプロセス（別紙参照）

露天掘りで採掘した鉱石をコンベアで SX/EW プラントまで搬出・堆積し, 銅分を希硫酸でリーチング（浸出）し, 溶媒抽出する。その後, 電解採取により電気銅を生産する。SX/EW プラントで生産された電気銅は Chanaral 港から出荷する。

(5) スケジュール（予定）

①2006 年~2008 年

追加ボーリング, リーチングパイロットテスト等を含む経済性調査 (feasibility study) を実施する。(調査費用 約 60 百万 US ドル)

②2009 年~2010 年

生産設備建設 (生産設備建設等初期投資額 (概算) 約 6 億 US ドル)

③2011 年

操業開始 (2029 年まで 19 年間操業, 年間約 10~15 万 t の電気銅を生産)

(6) 資金調達

公開買付及び調査に必要な資金については, P P C 社の両親会社 (日鉱金属㈱及び三井金属鉱業㈱) の引受けによる新株発行により調達する予定。その後の資金については未定。

以 上

お問い合わせ先： 日鉱金属株式会社

総務担当 檜崎, 大井手

TEL : 03-5573-7223

三井金属鉱業株式会社

経営企画部広報室 桜井, 浅木

TEL:03-5437-8028

パンパシフィック・カッパー株式会社

業務部 村山, 小倉

TEL:03-5501-3578

ご参考：レガリート社の概要, P P C 社の概要, 鉱床概観写真

別紙：レガリート銅鉱床の所在図, プロセスフロー概念図

【レガリート社の概要】

会社名	Regalito Copper Corp.
本店所在地	カナダ ブリティッシュ・コロンビア州 バンクーバー
代表者	会長 Ross Beaty CEO Robert Pirooz
設立	2003年
事業内容	レガリート銅鉱床の開発
発行済株式数	約 21.9 百万株 (2005年9月30日現在)
総資産	18,388 千カナダドル (同上)

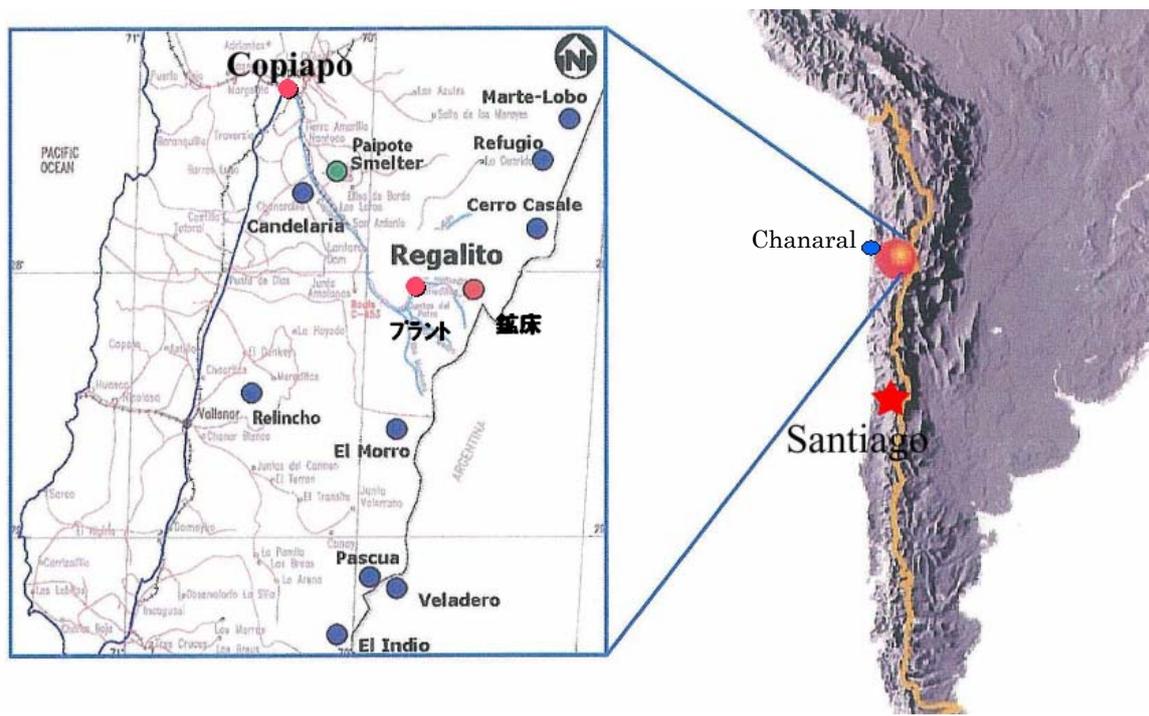
【PPC社の概要】

会社名	パンパシフィック・カッパー株式会社
本店所在地	東京都港区虎ノ門一丁目 21 番 17 号
代表者	代表取締役社長 久留嶋 毅
資本金	3,450 百万円 (日鉱金属株66%, 三井金属鉱業株34%)
設立	2000年
事業内容	・ 電気銅、硫酸、その他銅副産品の製造・販売 ・ 金属鉱業
売上高	297,159 百万円 (2005年3月期)
総資産	85,205 百万円 (2005年3月期)

【鉱床概観写真】



【レガリート銅鉱床の所在図】



- ・チリ第3州 州都Copiapoから鉱床まで南東方向に115km、アルゼンチン国境から15km
- ・標高4,200~4,600m(鉱床)、標高2,800m(プラント)

【プロセスフロー概念図】

